

公益社団法人東大和市シルバー人材センター
平成28年度事業計画

1. 基本方針

日本経済は、昨今の中国経済の減速や原油安により下振れが懸念され大きく変動しておりますが、長期的には概ね緩やかな回復基調が続くと見られており、東京都においても、平成27年度の企業収益は増益見込みであり、経済状況は引き続き好転していくことが期待されております。また、雇用情勢については、有効求人倍率が平成3年以来の高い水準となり着実に改善が進んでおります。

このような経済状況ではありますが、当センターの平成26年度の契約実績は微増にとどまり、会員数においては減少傾向となっております。この傾向は平成27年度においても、同様であると思われまます。センターの安定的な事業運営を図るためには、会員の拡大及び就業機会の拡大が急務となります。入会者の減少対策や女性会員の増強、会員の就業意欲・就業ニーズに対応した就業機会の確保や新たな分野への就業開拓など、センター事業のさらなる推進・拡充が課題となっております。

具体的な入会の促進対策といたしましては、入会説明会修了後の入会申込可能期間の延長や出張入会説明会の実施、スーパー等での会員募集チラシの配布など、会員数を増加させるための方策を積極的に行います。また、多様な就業機会の確保や会員の就業ニーズに応えるため、平成28年4月から、シルバー派遣事業を開始いたします。

センターの「事業計画」は、10カ年間の長期計画（平成25年度～平成34年度）に基づき制定されておりますが、平成28年度はその中から、入会の促進、事業開拓の推進、ボランティア活動の推進、安全就業の推進、会員交流の促進、会員研修の実施等を主眼として取り上げております。

長期計画の内容はセンターの事業運営にとってそれぞれが重要なもので、長期計画の構想は、今年度の事業計画の中核となっております。

2. 重点項目及び事業実施計画

平成28年度のセンターが取り組む重点テーマの実施を次のように設定する。

(1) 地域と連携するセンターづくりをすすめる

① ボランティア活動の推進

市及び事業所、地域住民等からの仕事の受注に感謝し、地域貢献とセンターのPRを目的に、これまで行われてきた道路美化清掃のほかに、さらなるボランティア事業の充実を図る。

② センターからの情報提供と地域活動への参加

会報、チラシ、ホームページなどの広報媒体を通じて、センターへの理解を深め、協力を得るための情報を提供するとともに、うまかんべえ～祭、環境市民の集い、産業まつり、福祉祭等の各種イベントや事業者の組織、自治会組織・管理組合等が開催する行事へ積極的に参加し、その組織力を活用し、センターのPRを行う。

③ 入会の促進

原則として、毎月第2水曜日に入会説明会（4月と5月は2回実施）を開催し、当日に入会申込みを受け付けるほか、入会説明を受けてからの入会申込可能期間を、年度内に限定せず12カ月間に延長し、入会申込期間を拡大する。

また、年に数回、市内の市民センター等に出向き入会説明会を実施し、働く意欲のある高齢者に対し会員募集の案内を行う。

さらに、事業者等の協力を得て、入会案内のチラシを配布し入会の勧誘を行う。

(2) 事業の拡大をすすめる

① 事業開拓の推進

ア 事業者の組織、自治会組織・管理組合等の組織力を通して、ポスティングや訪問活動による、センター事業の開拓推進を図る。

イ 顧客満足度調査としての「お客様アンケート」を引き続き実施し、分析を行うとともに、その結果を各職群等にフィードバックすることにより、多種多様なお客様のニーズに沿った事業の拡大を図る。

ウ PRは、「口コミ効果が大きい」ことから、会員一人ひとりが主体となって、センターや事業のPRを展開していく。

エ シルバーの事業は行政との関わりが大きいことから、政策目的随意契約の活用を働きかける。

オ シルバー派遣事業について、上部団体及び他センターとの情報交換を随時行い、事業の拡充を図るべく、民間事業所に対し事業開拓を行うとともに、市が発注する事業のうち、センターが派遣契約で行えるものについて、積極的に市へ働きかけを行う。

カ 少子高齢化が急速に進展する中、生活支援サービスの増加などが見込まれることを踏まえて、女性会員の底上げとともに女性の就業につながる新たな就業分野の開拓を検討する。

(3) 就業の拡大をすすめる

① 仕事の分かち合いの推進

希望者が多い職種については、一人でも多くの会員が就業できるよう、現在の就業状況を踏まえながら、就業人員の増員を検討する。

② 未就業会員の解消促進

「会員就業相談」を引き続き、毎月実施し、未就業会員に登録業種の変更や、見直しを促すなど、一人ひとりの会員に合った就業指導を行う。

③ 就業停止の実行

クレームなどにより就業に悪影響を与えた会員に対し、その実態を調査し、適切な対応策を図る。

(4) 安全・適正就業をすすめる

① 職群別就業マニュアルの整備

それぞれの職群に適合する就業マニュアルを整備し、均衡を確保し効率の上がる就業をすすめる。

② 安全就業の推進

「安全だより」の発行等により、安全就業基準の周知・徹底を図り、また、安全就業パトロールの強化により、さらなる安全就業を推進する。

③ 安全教育の推進

安全勉強会を実施し、安全教育の推進を図る。

④ 就業リーダーの育成

就業グループリーダーを育成し、適正就業を遵守する。

(5) 事業の効率化をすすめる

① IT化・OA化の促進

コンピュータやデータ通信に関する情報技術や、様々な情報機器については、日々目まぐるしく進歩することから、引き続き研究・検討を続け、効率的な事務の改善を図る。

② ホームページの拡充

センター情報の発信手段であるセンターホームページを、より親しみやすく、わかりやすい内容とするため、また、高齢者に役立つ情報が収集できるようなものとするため、組織化された作業グループで、さらに改善作業を継続する。

③ 会員教育の推進

シルバーの基本理念である自主・自立、共働・共助を理解し、さらなる顧客満足度の向上を目指しながら、サービス業として地域貢献が果たせるよう、会員教育をすすめる。

④ 事務局職員の研修

法制度や組織としての制度を研修・研究し、引き続き効率的かつ正確な事業運営を図る。

⑤ 会員情報の活用

会員情報の整理を行い、登録された情報を確実かつ正確に活用することにより、お客様のニーズに対応するとともに、会員の就業につなげる。

(6) 組織の活性化をすすめる

① 職群化の推進

同一職種ของกลุ่ม化を図り、業務執行の均一化と就業会員の意識の向上を図る。

② 会員交流の促進

シルバーの目的の一つである「生きがいつくり、健康維持、社会参加」を促進するために、各種会員交流会をさらに積極的に行う。

③ 会員研修の実施

新入会員に対する接遇研修などを実施し、会員の資質の向上を図る。

④ 地域班長の確立

地域班長の権限と責任を明確にし、地域班長と理事、会員、センターが有機的に機能するようすすめる。

⑤ 会員が気楽に話し合える場づくり

会員が気楽に立ち寄り、話し合ったり、情報交換を行えるように、月初めの一定期間、実習室を開放する。

(7) 財政基盤の確立をすすめる

① 効率的な財政運営

効率的財政執行を図るために、先進市のシルバー人材センター並びに類似経済規模のシルバー人材センターなどの資料収集を図りながら、適正な事業運営をすすめる。